

公共交通乗り継ぎ情報提供社会実験(スマートモビリティ高知)報告

首都圏事業部 統合情報技術部 秋山成央 他

○キーワード

ITS、公共交通乗り継ぎ情報提供、プラズマディスプレイパネル、情報キオスク端末、IP-VPN

○概要

高知県地域ITS計画(KoCoRo21)の一環として、高知都市圏の公共交通利便性向上を支援するため、目的地までの適切な経路、路線、出発時刻、乗り場などの情報について出発前や移動中に得られるシステムをインターネットおよびIT機器を活用して構築し、社会実験「スマートモビリティ高知」により効果評価を行った。本論文ではシステムおよび社会実験の実施概要について報告する。

○技術ポイント

■実験システムでは、幅広い年齢層で機械操作に不慣れな方も対象とした情報提供サービスを行った。情報提供機器は情報を常時提供する情報TV(プッシュ型)、利用者が自ら欲しい情報を取り出すことのできる情報キオスク、パソコン、携帯電話[i-mode](プル型)とし、複数の情報提供機器によるシステムとした。情報提供内容は目的施設までの経路、出発時刻、料金、乗り場およびその周辺施設、乗り場へのバリアフリー経路などとした。

■目的地までの経路案内においては、県外からの来訪者の活用を考慮し、目的地表示をバス停や駅名ではなく観光地および施設名とした。経路検索アプリケーションは、今回の実験では多様な公共交通機関(路線および高速バス、路面電車、JR)の運行情報をシームレス、かつスムーズに検索する必要があるため、軌道系交通機関のみを対象とした市販のプログラムは採用せず、オリジナルのアプリケーションを開発した。

■アプリケーションのメンテナンス性向上のため情報提供拠点およびサーバセンタをIP-VPNでネットワーク接続し、情報コンテンツをサーバ側で一元管理するとともに機器の遠隔監視・保守を可能とした。なおIP-VPNではセキュリティを確保したうえで専用線よりも安価に遠隔拠点間ネットワークを構築することが可能となっている。

○図・表・写真等



図情報TV(左)と情報キオスク(右)

主要交通結節点に情報TVと情報キオスクを併設した。情報TVには高輝度の50型高精細プラズマディスプレイパネル(PDP)を採用した。情報キオスクはタッチパネル式のものとし、インターネット上の外部ページの参照も含めて様々な情報収集を可能とした。情報TVの番組構成については全番組を5分程度で一巡させるため、時刻、経路、出発時刻等の動的情報をPDP画面で提供し、乗り場、周辺施設、バリアフリーなどの静的情報については固定情報板に表示した。